

「春季 彼岸法要の案内」



令和3年3月

◇両讚寺春彼岸法要

令和三年

三月二十一日（日曜日）

午後七時半 開始

場所 両讚寺

○御回向承り日程

・三月十九日 午後二時より

・三月二十日 終日

・三月二十一日 終日

（十九日は午前中諸用の為、右記時間より承っております。）

二十日、二十一日は終日承っております）

◇恵心寺春彼岸法要

令和三年

三月二十日（春分の日）

午後七時半 開始

場所 恵心寺



両讚寺
恵心寺

発行 〒610-0343
京都府京田辺市
大住八河原九
宿谷真治
電話 0774-62-3137

緊急事態宣言も解除となり

ましたが、未だコロナ禍終息の先が見えない状況です。

皆様それぞれに感染への対策を行ってらっしゃることと

思います

春の彼岸におきましても、大住村の皆様、檀信徒の皆様、また両讚寺・恵心寺にご信仰のある皆さま及び関係者様が、新型コロナウイルスに感染されることなく、平穩に過ごすことができそうです。薬師如来に「病魔退散」「地鎮国家」の祈願を行う所存です。

先月の寺報では、その両讚寺薬師如来の特徴をお伝えいたしました。

両讚寺の薬師如来は、仏像や美術史の観点で注目されるべき仏様として、近年数回の調

査が行われています。

その調査の内容の中、特筆されるのが、二つあります。

一つは、平安時代初期に一本の御神木から作られた仏様であるということ。

二つ目は、安定した仏の相というより、神秘的なお顔立ちを

されているということ。です。特にお顔に関してですが、本

来仏様には「仏の相」というものがあり、仏像のお顔という

ものもその「仏の相」のセオリーに従って作られています。

その為、どのお寺の仏様も一見しただけでは、一般的な「仏

の相」から大きく逸脱することはありません。

しかし、両讚寺秘仏の薬師如来は、特殊な相をされてらっ

しゃいます。一説によると、大きな神社で

祀られている御神体のお像に近い、お顔の表情であるとのこと

です。つまり、仏様の相と、日本古

来の神様の相とを合わせ持つお顔立ちでいらっしゃるということ

です。両讚寺の薬師如来像は、元は一本の御神木を材料に制

作されたこと、また月読神社や近くの岩清水八幡宮との

関係性、大住という特殊な地との関係など、さまざまな関

連性が推測されるようです。普段は秘仏ですが、本堂に

お参りの際、その靈性を感じとっていただけましたら幸

いです。

【京田辺市ボランティア

ガイド協会 主催

「ふれあいハイク」ご案内】

令和三年三月三日（水）

午前十時頃より、両讚寺

本堂にて住職の話

「大住の歴史と仏様について」

※檀信徒の皆様は特別に、ふれあいハイクに参加して

なくても、本堂に入れます。